

第16回 峰山町・大宮町・網野町・丹後町 ・弥栄町・久美浜町合併協議会（議事概要）

日 時 平成16年1月28日（水）PM1：30～PM2：21

場 所 大宮町国民年金健康センター丹後おおみや

出席者 47人（3人欠席）

傍聴者 0人

報告事項

（1）京丹後市長職務執行者について

協議事項

（1）京丹後市「市章」の選定について

（2）峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会の解散について

議事経緯

開会

会長あいさつ

会議成立確認

報告事項

（1）報告第1号 京丹後市長職務執行者について

事務局

4月1日から6町は合併し、新たに京丹後市としてスタートする、これに伴い、前日の3月31日をもって、それぞれの町長は失職となる。「京丹後市」の市長については、公職選挙法（33条）及び地方自治法（第7条）の規定に基づき、合併日から50日以内に選挙することとなっている。従って、合併日から選挙で新市長が決まるまでの間約50日間は市長が不在となるので、地方自治法施行令では市長が決まるまでの間市長の代わりの職務執行者について、関係する6町長で事前に協議して定めるよう規定されている。

濱岡会長

6町長で協議が整ったので、報告させていただく。京丹後市長職務執行者は、増田桂一峰山町長にお願いすることになった。

増田町長

4月1日から50日間の間に新しい市長さんが誕生するまで職務執行者を務めさせていただくこととなった。こういう歴史の転換期に立ち合わせていただいたことに対し、非常に光栄に思っており、心から皆様方に御礼申し上げます。職務執行者の実際の役目は、必要最小限な義務的な行政を担うというものであるが、やはり合併のスタートというのは大切というふうに思っている。今の役場が市民局として残るが、それぞれ分散型で出発するので、職員自身が不慣れなで町民のみなさんにご不便をおかけすることと思うが、早く職務に慣れるよう少しでもお役に立てればと思っている。

(1) 京丹後市「市章」の選定について

選定経過の報告

事務局

全国からの募集結果は、応募総数 1,594 点、応募者数は 687 人であった。これに基づき、12月8日に京都工芸繊維大学の木村学長、京都市美術館の上平館長の両専門家に加え、合併協議会から峰山町の中山委員、大宮町の養父委員、網野町の沖田委員、丹後町の下田委員、弥栄町の行待佳平委員と植野委員、久美浜町の清水委員と奥田委員と濱岡会長の参加で第1回の選定委員会を開催した。

第1回委員会では、1次選考として第2回の委員会までに、木村・上平両委員は、各50点程度、その他の委員は、各10点程度選出し、それを取りまとめたものをもってさらに絞り込むことを確認した。

12月25日に第2回の委員会を開催した。ここでは、第1次選考で取りまとめた134点についてそれぞれの製作者の図案の制作趣旨を示し、全作品をテーブル上に並べ、協議をしながら投票を行うということを数度重ね、最終候補作品の5作品を選定した。

選定方法の説明

事務局

選考5作品とその作品の補正されたものをそれぞれ1ページごとに取りまとめており、まず当初の作品と補正のものも含めて、5作品の中から、本日出席委員全員により、1人1点、市章としてふさわしいと思われる作品を、第1次投票として無記名投票し、次にこの第1次投票で上位の得票を得た作品2点について再度委員全員により1人1点無記名投票し最多得票を得た作品1点を採用作品として決定する。次に、決定された作品について入選作と補正されたものの中から1作品を投票で決定する。そして、決定作品の応募者を最優秀賞に、その他の4作品の応募者を優秀賞として決定する。

委員

異議なし。

濱岡会長

投票の結果、市章に決定したのは東京都世田谷区に在住の安田照夫の作品に決定した。残り4作品については優秀賞とする。

(2) 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会の解散について

濱岡会長

一昨年4月4日付けで設置した合併協議会も協議事項が全て終了したので、本日の第16回協議会をもって最後としたい。従って、当協議会も6町がなくなる3月31日をもって

廃止とさせていただきたい。この協議会の廃止については、地方自治法の規定に基づき各町の3月議会で提案させていただく。また、協議会の予算については、協議会規約第19条の規定により、「解散の日をもって打ち切りとし、会長であったものが、これを決算する」こととなっており、今後、まだ準備関係、啓発関係で予算を執行することとしているが、最終的に発生する剰余金については、新市にすべて引き継ぐこととする。従って、協議会の最終の決算書の報告はなしとさせていただきたい。

委員

異議なし。

濱岡会長

「京丹後市」の誕生は、6町にとって、そして地域の住民の皆さんにとって、大きな挑戦であり、地域に存在する資源を最大限に活かしながら、限られた財源のもとで効率的な行政運営を行うことで地域の振興を図っていきたいと考えている。

来る4月1日まで、あと64日。残された期間、京丹後市への円滑な移行ができるよう、6町長と職員全員が一丸となって、取り組んでまいります。委員の皆様方には、今後ともご理解と御協力をお願い申し上げ、閉会にあたり挨拶とさせていただく。